

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年5月11日～2017年5月17日)

平成 29 年(2017 年)5 月 19 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>下院執務室の見取り図, インターネット上に流出 ドゥダ大統領, 憲法改正に関する国民投票への意欲を改めて表明 最新の世論調査結果 情報機関報道官, ランサムウェア「WannaCry」によるサイバー攻撃に関する声明発表 EU総務理事会, ポーランドの法の支配につき議論 ドルノシロンスク県の火薬工場で大規模爆発 若者による犯罪件数, 増加 ポーランド軍戦闘機Su-22, エストニアの演習に参加 レジコヴォ基地司令, 基地防護に関する訓練の覚書に署名 国家安全保障長官, リトアニア訪問 国防省, 特殊部隊用にチェコ製の60ミリ軽迫撃砲を導入予定と発表 国防副大臣, ホマル・システムの弾薬輸入先を数か月以内に決定と発表 国防次官, V4副大臣級会合に参加 ドゥダ大統領, マクロン仏大統領と電話会談 シドゥウォ首相, 中国訪問 ポーランド外務省, 北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する声明発表 ポーランド・ラトビア首脳会合 ドゥダ大統領, ストルテンブルグNATO事務総長と電話会談 ヴァシチコフスキ外相, EU外務理事会出席 NATO大隊等の参加するプーマ演習, 開始 ポーランド空軍F-16等, ロシア軍機に対しスクランブル対応 シドゥウォ首相, 難民受入れ拒否姿勢の再表明 ウクライナ高官, ロシアの演習がポーランド等を攻撃する想定で行うと発言 参謀総長, EU, NATO参謀総長会議に参加 ドゥダ大統領, 中東欧諸国議会議長会議出席</p>								
<p>経済</p> <p>日曜の営業禁止は導入せず ムーディーズによる中期見通しの格上げ 4月の物価上昇率 2017年第1四半期GDP成長率 薬事法改正 政策金利の据え置き KGHM社, 中国企業と共同建設事業の実施に関し協議 2018年の電力容量市場制度を開始に向けて作業中 ポーランドへの賛同国は10以上 - 欧州委員会ウィンターパッケージの議論</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 G7サミット安全対策に伴うイタリア側国境におけるシェンゲン協定国との出入国管理に関する注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm</p>								

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

下院執務室の見取り図、インターネット上に流出【12日】

12日、下院事務局は、執務室改装にあたり、インターネット上に競争入札を公示した。公示文書には、クフチンスキ下院議長等の執務室や階段の見取り図、電気機器や下水パイプ・シンクの配置など、警備上機微な情報が掲載されている。下院事務局は、議会の安全確保に支障はない旨弁明している。

ドゥダ大統領、憲法改正に関する国民投票への意欲を改めて表明【15日】

ドゥダ大統領は、15日付週刊誌「w sieci」のインタビュー記事にて、ポーランドは体制転換から28年、憲法制定から20年を経て大きく変化した、憲法を時代に合わせて改正すべきである、自分(ドゥダ大統領)は近く本件国民投票に関する全権を任命する、国民投票は(独立回復100周年にあたる)来年11月11日前後に実施したい旨述べた。

最新の世論調査結果【15日】

15日に発表された世論調査機関CBOSによる調査結果によると、与党「法と正義」(PiS)が39%の支持を獲得し、第2位の最大野党・市民プラットフォーム(PO)の26%を大きく上回った。この他の政党については、クキス'15が7%、近代が5%の支持を得た。

情報機関報道官、ランサムウェア「WannaCry」によるサイバー攻撃に関する声明発表【15日】

15日、世界各国で被害が報告されているランサムウェア「WannaCry」によるサイバー攻撃について、ジャレン情報機関報道官は、ポーランド公安庁及びポーランド・コンピューター・セキュリティ緊急対応チ

ームが行政・デジタル化省と連携しながらモニタリング作業に当たっており、ポーランド国内では「WannaCry」による被害は確認されていない、とする報道機関向け声明を発表した。

EU総務理事会、ポーランドの法の支配につき議論【16日】

16日、EU総務理事会にて、欧州委員会からの要請を受ける形でポーランドの法の支配に関する議論が行われた。同理事会後、ティーマンス欧州委員会筆頭副委員長は、大多数の国がポーランド政府との対話を継続して問題解決を目指す欧州委員会の姿勢を支持した旨述べた。一方、同理事会に出席したシマンスキ外務副大臣も、多くの国が中立的な姿勢で議論に臨んだ旨述べ、議論の内容を評価した。

ドルノシロンスク県の火薬工場で大規模爆発【17日】

16日午前、ドルノシロンスク県モンコルノの火薬工場で大規模な爆発が発生し、2人が死亡、15人が負傷した。外国人の被害は確認されていない。警察・消防が爆発の原因調査を進めており、テロの可能性は低い旨発表している。

若者による犯罪件数、増加【17日】

17日、ジェチポスポリタ紙は、警察統計資料を引用し、ポーランド国内で若者による犯罪が増加している旨報じた。2016年に発生した18歳以下の若者による犯罪総件数は28,345件(2015年比で371件増)で、若者が関与する校内暴力、傷害、強盗、麻薬取引、アルコール及び薬物の影響下での危険運転、殺人が増加している。

外交・安全保障

ポーランド軍戦闘機Su-22、エストニアの演習に参加【9～18日】

9～18日、ポーランド軍戦闘機Su-22は、エストニアで開催されたスプリング・ストーム演習に参加した。同演習は、8日から26日まで開催され、エストニア軍、エストニア展開中のeFP大隊、米軍のAH-64、UH-60、スペイン軍のF-18、フィンランド軍、オランダ軍等が参加した。

レジコヴォ基地司令、基地防護に関する訓練の覚書に署名【10日】

10日、ポーランド軍レジコヴォ基地司令兼防護大

隊長のレヴァンドフスキ大佐は、米海軍レジコヴォ支援施設司令リッキー・ギルバート大佐と基地防護に関する訓練の覚書に署名した。同覚書は、ポーランド陸軍兵士と米海軍兵士があらゆる状況に対応するための訓練を共同で行い、相互運用性の向上、通信・連携の向上を図るもの。

国家安全保障長官、リトアニア訪問【10～12日】

10～12日、ソロフ国家安全保障局長官は、リトアニアを訪問し、安全保障担当大統領補佐官、国防大臣、外務大臣と会談を行い、前方地域プレゼンス強化(eFP)大隊に係る協力、リトアニア・ポーランド・ウ

クライナ共同旅団の活動強化、安全保障情勢、ハイブリッド脅威、情報戦等について意見交換を行った。また、同長官は、シャウレイ空軍基地を訪問し、バルト領空監視任務のため派遣されている隊員を激励した。

国防省、特殊部隊用にチェコ製の60ミリ軽迫撃砲を導入予定と発表【11日】

11日、国防省は、ニル(NIL)特殊部隊用に、チェコ製の60ミリ・アントス軽迫撃砲を導入予定と発表した。同迫撃砲は、1門当たり310万ズロチで、燃料気化爆弾等多様な弾種を発射できる。

国防副大臣、ホマル・システムの弾薬輸入先を数か月以内に決定と発表【11日】

11日、コブナツキ国防副大臣は、地対地多連装ミサイル・ホマル・システムの製造を行うスタロバ・ボラ鉄鋼会社を訪問し、同システム用の弾薬の輸入先を数か月以内に決定すると発表した。現在の候補は、イスラエル、トルコ、米国の会社である。同システムは、最大射程300kmを有する。

国防次官、V4副大臣級会合に参加【11～12日】

12日、シャトコフスキ国防次官は、クラクフで開催されたV4国防副大臣級会合に参加し、加盟国間の協力、NATOの体制改編、共通の安全保障政策等について意見交換を行った。

ドゥダ大統領、マクロン仏大統領と電話会談【12日】

12日、ドゥダ大統領は、マクロン仏次期大統領(同日時点)と電話会談を行い、二国間関係について意見交換した他、両大統領は次期ワイマール・トリアングル会合を仏主催で早期に開催する事で合意した。ドゥダ大統領は、会談後、両国関係は様々な理由で困難もあったが、新大統領と共に新たな二国間関係の構築が可能になることを期待する旨述べた。

シドゥウォ首相、中国訪問【12～15日】

12～15日、シドゥウォ首相は中国を訪問し、「一帯一路」国際フォーラムに出席した他、習近平中国国家主席と会談を行うと共に、李克強首相と会談し、同会談において両首相の臨席の下、ヴロネツカ外務次官、ガイダ環境次官、王毅外交部長及び李金早中国国家旅遊局長出席との間で、観光に関する政府間合意及び内陸水路に関する覚書への署名が行われた。また、シドゥウォ首相は、エルデネバト・モンゴル首相、エルドアン・トルコ大統領、アウン・サン・スー・チー・ミャンマー国家最高顧問及びウィド・インドネシア大統領ともそれぞれ二国間会談を行った。

ポーランド外務省、北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する声明発表【14日】

14日、ポーランド外務省が北朝鮮の弾道ミサイル発射に対し、平壤当局の行動は、地域の安全と平和、国際的な核不拡散及び武器管理システムへの脅威となる旨の非難声明を発出した。

ポーランド・ラトビア首脳会合【15日】

15日、ドゥダ大統領は、ワルシャワにて、ポーランド訪問中のベーヨニス・ラトビア大統領と会談を行い、二国間関係、地域安全保障、ロシアとの関係及び欧州の将来について意見交換した。

ドゥダ大統領、ストルテンブルグNATO事務総長と電話会談【15日】

15日、ドゥダ大統領は、ストルテンブルグNATO事務総長と電話会談を行い、24～25日にブリュッセルにて開催されるNATO首脳会合において議論される課題について意見交換した。

ヴァシチコフスキ外相、EU外務理事会出席【15日】

15日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにて、安全保障及び防衛分野におけるEUグローバル戦略(EUGS)の履行、アフリカの角の情勢、EUアフリカ関係及び東方パートナーシップを主題にしたEU外務理事会に出席した。

NATO大隊等の参加するプーマ演習、開始【15日】

15日、ポーランド第15旅団は、ポーランドに展開中のNATOのプレゼンス強化(eFP)大隊等が参加するプーマ演習を、ポーランド北東部オジェシュ演習場等で開始した。同演習は、26日までの予定で、相互運用性の向上等を目的に行われる。

ポーランド空軍F-16等、ロシア軍機に対しスクランブル対応【15、16日】

15日、バルト領空監視任務中のため、リトアニアのシャウレイ飛行場に展開中のポーランド空軍のF-16戦闘機は、カリーニングラードに向け飛行中のロシアIL-20M情報収集機に対してバルト海上空にてスクランブル対応を行った。

また、同日、エストニアのアマリ飛行場に展開中のスペイン軍のF-18戦闘機は、カリーニングラードから飛行したロシアSu-24Mに対してスクランブル対応を行った。

16日、バルト海を航行中のオランダ海軍フリゲート艦エベルトセンに近接飛行を行ったロシアSu-24に対し、スウェーデン空軍がスクランブル対応を行った。

シドゥウォ首相、難民受入れ拒否姿勢の再表明【16日】

16日、シドゥウォ首相は、15日に欧州委員会がポーランド、オーストリア及びハンガリーが6月までに難民の域内における再配置を受け入れない場合に、EUの法的義務違反に関する制裁プロセスを開始する声明を発出したことを受け、難民受入れ枠の強制は深刻な問題であると、ポーランドの難民受入れへの拒否姿勢を改めて表明した。

ウクライナ高官、ロシアの演習がポーランド等を攻撃する想定で行うと発言【16日】

16日、トゥルチーフ・ウクライナ国家安全保障局長官は、ロシアがベラルーシと共同して実施する軍事演習ザーパド17が、ポーランドとリトアニアを攻撃する想定で、大規模作戦における即応性の検査及びカーニングラード回廊の確保を目的に行われると発表した。

参謀総長、EU、NATO参謀総長会議に参加【16～17日】

16～17日、参謀総長スラフスキ中将は、EU及びNATOの参謀総長会議に参加し、ウクライナ情勢、EU派遣任務、NATOの脅威、テロとの戦い、アフガニスタン情勢等について意見交換を行うと共に、米軍、カナダ軍等の参謀総長と二国間会談を行った。

ドゥダ大統領、中東欧諸国議会議長会議出席【17日】

17日、ドゥダ大統領は、ワルシャワにて開催された中東欧諸国の議会議長会合の開会式に出席し、議会間協力の重要性、三海域協力イニシアチブ及び欧州統合の将来等について演説を行った。

経 済

経済政策

日曜の営業禁止は導入せず【17日】

ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣は、議会で今年後半の導入が議論されていた日曜日の営業禁止について、野心的に過ぎ、今年の導入はないと述べた。

同法案は、部分的な営業を認めるか、営業禁止日を各週にするかなど、詳細につき、多くの変更が議論されていた。

マクロ経済動向・統計

ムーディーズによる中期見通しの格上げ【13日】

ムーディーズは、ポーランドの政府債務格付けを「A2/P-1」に据え置いたものの、中期的格付け見通しを「ネガティブ」から「ステーブル(安定的)」に格上げした。現政権の下で、投資環境が悪化していないことから、モラヴィエツキ・プランが健全な財政状況の下で実施されれば、中長期的に公的債務の対GDP比が抑えられるだろうとしている。

4月の物価上昇率【13日】

中央統計局(GUS)速報によれば、4月の物価上昇率は対前年同月比2%と、1月から中央銀行の目標値下限(1.5%)を上回る状態が続いている。

2017年第1四半期GDP成長率【16日】

中央統計局(GUS)速報によれば、2017年第1四半期のGDP成長率は対前年同期比4%で、2015年第4四半期以来の4%超えとなった。建設部門の好況が主な要因とされている。確定値は6月

末に公表される。

薬事法改正【17日】

ドゥダ大統領は、薬事法改正のための法案に署名した。「薬剤師のための薬局」と称されるこの改正法では、薬剤師の資格を持つ者のみが薬局を開店でき、新規の薬局は既存の薬局から500m以上離すとともに、3,000人以上が居住する区域に開店すること等が定められている。

政策金利の据え置き【17日】

中央銀行金融政策委員会は、政策金利を1.5%に据え置くことを発表した。失業率の減少と賃金の増加に伴う活発な民間需要が経済成長を主に牽引し、建設部門の好況と相まって投資の増加に結びついたとしている。また、グラピンスキ中央銀行総裁は、2017年のGDP成長率が4%を下回れば驚きである、とコメントしている。

ポーランド産業動向

KGHM社、中国企業と共同建設事業の実施に関

し協議【17日】

KGHM社のドマガルスキ・ワベンツキ社長は、中国企業との間で共同事業に向けたリストを作成する旨述べた。同社長はシドゥウオ首相の中国訪問に同行しており、中国側パートナーと今後の共同事業について協議を行った。共同事業を行うのは、KGHM社の子会社PeBeKa社と中国のMetallurgical Corporation China社(中国冶金科工

集団)、China Minmetals Corporation(中国五鉱集団)とされており、月内に共同事業のリストを固め、数か月内には発表できるようにしたいと述べている。具体的な共同事業としてはアジア各国の高速道路におけるトンネル建設やポーランドの新中央空港建設計画が挙げられている。

エネルギー・環境

2018年の電力容量市場制度を開始に向けて作業中【11日】

エネルギー省は電力容量市場制度の2018年の導入に向けて関連法案を作業している。同省によれば、最新型の発電所と既存発電所について特別な解決策を準備していることや外国企業もオークションに参加出来ることを特徴として挙げている。タウロン社プロダCEOは、電力容量市場制度の導入は電力卸売市場での価格の引き下げを起すすが、消費者レベルでの価格には影響は与えないだ

ろうと述べている。

ポーランドへの賛同国は10以上－欧州委員会ウインターパッケージの議論【12日】

トビショフスキ・エネルギー副大臣は、欧州委員会によるウインターパッケージ提案に関し加盟国と協議中であり、最大13か国から支持を取り付けており、最終的にその立場を維持するかを見ているところであると述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

G7サミット安全対策に伴うイタリア側国境におけるシェンゲン協定国との出入国管理に関する注意

現在、イタリアとシェンゲン協定国との間での出入国管理については、シェンゲン協定により簡易措置が講じられていますが、4日、イタリア国家警察は、5月26日及び27日の両日に開催されるG7タオルミーナ・サミットの安全対策の一環として、イタリア側国境におけるシェンゲン協定国との出入国管理を一時的に再開する旨公表しました。

イタリア側国境におけるシェンゲン協定国との間の出入国管理の再開は、5月10日から、5月30日24時まで継続されます。

今回のイタリア側国境における出入国管理の一時再開の措置によって、シェンゲン協定国との出入国については身分事項や滞在許可の確認が行われることが予想されることから、空路のみならず、車、列車、船等で国境を越える際には、滞在許可証等に加え、必ず旅券を携行してください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C098.html

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、

ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【予定】日本の子供の日【5月21日(日)】

ワルシャワ市にて、ちびワル主催による『日本の子供の日』が開催されます。日本で祝う子供の日の紹介及び子供向けのワークショップが予定されています。

開催場所: ワルシャワ市, Atelier Powiśle, Wybrzeże Kościuszkowskie 45

詳細: <https://www.facebook.com/fundacjachiwiaru/>

【予定】国際オープン極真空手選手権 レスコ市長カップ【5月27日(土)】

レスコ市にて、レスコ市極真空手文化センター主催による『国際オープン極真空手選手権 レスコ市長カップ』が開催されます。

開催場所: 西ポモージェ県, レスコ市, ul. Wojska Polskiego 16

詳細: <https://www.facebook.com/events/734605460054365/>

【予定】第5回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月3日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会, 日本人会, 日本大使館主催による第5回「日本祭り」がワルシャワのスウジェフ文化センターで開催されます。和太鼓, 舞踊, 伝統音楽からポップまで様々なステージ演目, 武道, 着付け, 書道, マンガ, 生け花, けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に, 観光情報コーナーや企業展示, 日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所: ワルシャワ, Służewski Dom Kultury , ul. Jana Sebastiana Bacha 15

詳細:

フェイスブック <https://www.facebook.com/MatsuriPiknikJaponski>

ウェブサイト <http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

【予定】ビドゴシチにおける剣道選手権大会【6月3日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第18回ポーランドジュニア剣道選手権・第13回ポーランド青年剣道選手権・第3回ポーランド子供剣道選手権大会』が開催されます。

開催場所: クヤヴィ=ポモージェ県, ビドゴシチ市, Zespół Szkół nr 10, ul. Karłowicza 2

詳細: <http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>

【予定】第2回国際極真空手選手権大会 IKO Bialystok 2017【6月10日(土)】

ビャウイストク市にて、ビャウイストク空手極真クラブ「カンク」主催による『第2回国際極真空手選手権大会 IKO Bialystok 2017』が開催されます。

開催場所: ポドラシエ県, ビャウイストク市, ul. Ks. Suchowolca 26

詳細: <http://kyokushin.bialystok.pl/>

【予定】第7回国際空手選手権大会 Polish Open 「Galizia Cup」【6月10日(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第7回国際空手選手権大会 Polish Open「Galizia Cup」』が開催されます。

開催場所:レジャイスク県,レジャイスク市, ul. Skłodowskiej 6

詳細:<http://www.karate.lezajsk.pl/>

〔予定〕 国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017 【6月23日(金)～24日(土)】

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017』が開催されます。

開催場所:ヴィエルコポルスカ県,クロトシン市

詳細:<http://www.sumo.org.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp)(ご連絡は電子メールでお願いします。)